

# STOP! 自衛隊のイラク派遣

## アメリカの大義なき戦争と占領

昨年3月アメリカは、「大量破壊兵器」があると断定し、「核査察継続」が主流を占めた国際社会の声を省みることなく、イラクへの戦争を強行しました。湾岸戦争の2倍以上約7000人もイラク国民が犠牲になったにもかかわらず、その「大量破壊兵器」は未だ見つかっておらず、この戦争そのものが間違っていたことが明らかです。

そして、フセイン元大統領が拘束されても米・英の占領支配に対するイラク国民の不満や抵抗は、「もはやこれはテロではなく、レジスタンス」と言われるほど広がっています。

## 自衛隊派遣は、戦火と混乱を拡大させる

昨年12月日本人外交官2名が犠牲になったにもかかわらず小泉首相は、イラクへの自衛隊派遣を閣議決定し、航空自衛隊に続き陸上自衛隊が派遣されようとしています。イラクに自衛隊を派遣させるため作られたイラク特措法では、自衛隊を「非戦闘地域に派遣する」と書かれていますが、国連でも「戦時下」とみなされているイラクにおいて、「非戦闘地域」「戦闘地域」の線引きができないことは、明らかです。

こうした状況の中で、自衛隊派遣が強行されるならば、「イラク復興」どころか、新たな日本人の犠牲者、そして加害者を生み、なし崩し的に武力行使の泥沼に陥り、更なる戦火と混乱を拡大させることになりかねません。

## イラクの人々は何を望んでいるのか

小泉首相は、「軍隊組織でなければ危なくて人道援助はできない」と言っていますが、現地で10年以上活動している日本のNGOピースウィングの大西さんは「自衛隊が得意なニーズがどの程度あるのか？例えば、アスファルトの道路を直すのであれば、自衛隊は不向き。病院を建てたり、浄水場を修繕するの

にも適しているとはいえない」「不得意な人道支援のために自衛隊を派遣し、しかも百億円以上のカネを使うというのは、コストパフォーマンスの面でも引き合わない」（論座04年1月号）と指摘しています。今、イラクの人々にとって必要なのは、武器を持った外国の軍隊ではありません。（下記「イラクの人たちから日本政府に送られたメッセージ」参照）イラクの人々自身による経済と生活の再建のためこそ、日本は人も金も出すべきです。

## 自衛隊派遣反対の声をあげよう！

自衛隊派遣は、イラクの人々による復興と自立に貢献するどころか、対立を決定的なものにし、東京を、そして米軍基地を抱える神奈川県央地域を新たなテロの危険に巻き込む最悪の選択です。イラクを占領している米・英を始め外国軍隊が撤退しない限り平和は戻りません。日本政府は、自衛隊派遣ではなく、米・英の撤退を求める外交政策を展開すべきです。それこそが「国際社会において、名誉ある地位を占める」（日本国憲法前文）ことにつながります。今こそ、自衛隊のイラク派遣をやめさせるため、市民の声と行動を示していきましょう！

## WORLD PEACE NOW 1.25

### WORLD PEACE NOW アクション

- 日時：2004年1月25日（日）開場12:30
- 場所：日比谷公園野外大音楽堂
- 内容：プレコンサート13:00  
ラリー開会13:30 ピースフルトゥモロウズ（予定）/上原公子（国立市長）/自衛官と市民をつなぐ人権ホットラインほっかいどう・坪井主税（札幌学院大学教授）/他（\*手話通訳あり）  
ピースパレード14:30～ コース：日比谷公園～数寄屋橋～東京駅～常磐橋公園解散

## イラクの人たちから日本政府あてに送られたメッセージ

■もし、日本人が武器を持って来るというのなら、私たちはそのような人々を望んでいません。アメリカを助けるためなら、来てほしくありません。私たちが外国人に望むことは、イラクの再建を手伝ってほしいということだけです。国連、そしてNGOの方を大歓迎します。

### ■親愛なる小泉さん

イラク人は日本人のことが大好きです。そして、日本からのNGOの人々は日本に対するさらなる良い印象を私たちに与えてくれました。どうか、この評判を落とさないようにしてください。そして、私たちの壊された国を再建するために民間の会社を送って下さい。